

車内置き去り防止安全装置 BS-350シリーズ

製造発売元:加藤電機株式会社

送迎バスの管理者・運用責任者・運転者様、販売店・取付店様

【はじめに】

この度は、ホーネット車内置き去り防止安全装置 BS-350シリーズ(以下 本装置といいます)をご購入いただき誠にありがとうございます。本装置を正しくご利用いただくために、この安全管理マニュアル(以下 本マニュアルといいます)記載の注意事項をよくご確認の上、本装置を正しく有効にご利用ください。

【本装置の目的】

本装置は、ヒューマンエラーによる置き去りを防止する上で補助的な役割をするものです。安全確認は送迎バスの管理者の責任のもとで確実に実施し、本装置の機能に依存しないように注意してください。

販売店・取付店の方は必ず本マニュアルを使用して本装置の内容を送迎バスの運転者、管理者、運用責任者様に説明してください。

本マニュアルのすべてのチェック項目をご確認の上、署名押印をお願いします。返信用封筒をご利用の上、本マニュアル「提出用」の原本を加藤電機株式会社にご郵送をお願いします。保管用に必要枚数分の複写をお願いします。

送迎バスの運転者様へ

【重要確認事項】ご熟読の上、安全に運行管理をお願いします。

本書は送迎バスの置き去りを防止するための本装置の取り扱いに関して、特にご確認いただきたい重要事項を記載したものです。必ずすべての記載事項をお読みいただき同意の上、すべての□にチェックマークを入れてください。

☐ 本装置の利用目的について

本装置は、あくまでもヒューマンエラーによる置き去りを防止するうえでの補助的な役割を果たすものです。必ずすべての座席の見回りを行い、安全に運用してください。本装置の使用法について不明な点は管理者に確認してください。

☐ 本装置の取扱説明書記載の内容を確認の上、適切に運用してください。

運用方法

- ☐ エンジンを停止すると同時に降車時確認式(BS-350K、BS-350KM、BS-350KV)の車内ブザー(音声)が鳴りますので、車両の後部に移動しすべての座席を確認してください。
- ☐ すべての座席を見回り終わったら、車両後部に設置されたブザー停止ボタン(オレンジ色)を押して車内ブザー(音声)を停止してください。車両の前方に移動しながら全ての座席を再度確認してから降車してください。
- ☐ 車内ブザー(音声)が5分以内に停止されない場合、未確認検知により車外アラームが鳴り始めます。ブザー停止ボタンを押すか、エンジンを始動するまで5分ごとに30秒鳴り続けます。必ず全座席の安全確認を行ってから、車内ブザー(音声)を停止してください。
- ☐ 運転席付近にステイタスディスプレイが設置されています。エンジン始動時に青色LED(正常)が点灯していることを確認してください。赤色LED(断線検知)が点灯している場合、本装置の配線が断線しているため、正常に動作しない可能性があります。ただちに、送迎バスの管理者に連絡をしてください。
- ☐ エンジンの停止から5分(初期設定時間)が経過すると自動検知式(BS-350J)の車内センサーが作動開始します。必ず5分以内に全座席の見回りを行って降車してください。降車後、車内に人が置き去りになっている場合、車内センサーが人の動きを検知して、車外アラームを鳴らします。車両に戻り、車内の全座席を確認して車外アラームを止めてください。※初期設定時間は5分です。実際の設定時間は管理者に確認してください。
- ☐ 上記の他、車両や本装置に異常を感じた場合には、直ちに管理者に連絡してください。

ホーネットBS-350シリーズ定期点検シート

管理者、運用責任者は本装置の機能を適正に維持するため、毎月 1 回以上下記の手順で定期点検を実施してください。

BS-350シリーズは、装置により車内置き去り防止安全装置の降車時確認式と自動検知式に分かれています。降車時確認式(BS-350K、BS-350KM、BS-350KV)をご利用の場合は、降車時確認式の点検項目を確認してください。自動検知式(BS-350J)をご利用の場合は、自動検知式の点検項目を確認してください。

- (準備するもの)
- ・本定期点検シート(必要枚数コピーしてご利用ください)
 - ・本装置の管理用リモコン
 - ・本装置のセンサー用リモコン

送迎バス名			車両番号:	
点検実施日	年	月	日	時 分～ 時 分
点検実施者				

BS-350K、BS-350KM、BS-350KV

降車時確認式の点検項目 1 ～ 6 を点検してチェック欄に正常(○)、異常(×)を記入してください。

項目番号	降車時確認式	点検項目	チェック
1	断線検知	エンジンを始動した時にステイタスディスプレイの正常(青色LED)が点灯する	
2	ブザー鳴動	エンジンを停止した時に車内ブザー(音声)が鳴る	
3	ブザー停止	ブザー停止用リモコンのブザー停止ボタンを押すとブザー(音声)が止まる	
4	ブザー停止	管理用リモコンのブザー停止ボタンを押すとブザー(音声)が止まる	
5	未確認検知	車内ブザーを5分間止めなかった時に、車外アラームが鳴る	
6	安全装置解除	エンジンを始動すると安全装置が解除する	

※点検項目にひとつでも(×)がある場合には、本装置が正常に作動していない可能性があります。動作不良や故障を発見した場合には、速やかに販売店・取付店または当社までご連絡ください。
※メンテナンスをご希望の場合は、別途取付店または当社までお問い合わせください。

BS-350J

自動検知式の点検項目 1 ～ 5 を点検してチェック欄に正常(○)、異常(×)を記入してください。

項目番号	自動検知式	点検項目	チェック
1	断線検知	エンジンを始動した時にステイタスディスプレイの正常(青色LED)が点灯する	
2	センサー作動	車両のエンジンを停止してから5分後に車内センサーが作動する	
3	センサー検知	車内で動くと車内センサーが検知して車外アラームが鳴る	
4	センサー解除	センサー用リモコンのセンサー解除ボタンを押すとセンサーが解除する	
5	安全装置解除	エンジンを始動すると安全装置が解除する	

※点検項目にひとつでも(×)がある場合には、本装置が正常に作動していない可能性があります。動作不良や故障を発見した場合には、速やかに販売店・取付店または当社までご連絡ください。
※メンテナンスをご希望の場合は、別途取付店または当社までお問い合わせください。

【重要説明事項】

下記の④～⑥は送迎バスの置き去りを防止するための本装置の運用に関して、特にご確認いただきたい重要事項を記載したものです。必ずすべての記載事項をお読みいただき同意の上、□にチェックマークを入れてください。



④本装置の利用目的について

本装置は、あくまでもヒューマンエラーによる置き去りを防止するうえでの補助的な役割を果たすものであり、管理者の責任のもと適切な安全管理を行うこと。



⑤本装置のご利用方法について

本装置の取扱説明書記載の内容を熟読し、適切に運用すること。

- ☐ 基本動作 1： 本装置はエンジンを停止すると同時に降車時確認式(BS-350K、BS-350KM、BS-350KV)のブザーが鳴ります。5分(初期設定時間)経過すると自動検知式(BS-350J)の車内センサーが作動します。
- ☐ 基本動作 2： 全座席を見回り、車両後部に設置されたブザー停止ボタン(リモコンボタン)を押して車内ブザー(音声)を停止します。再度全座席を見回り安全を確認したら降車します。
- ☐ 基本動作 3： 車内ブザー(音声)が5分以内に停止されない場合は、車外アラームが鳴り始めます。車外アラームはブザー停止ボタンを押すか、エンジンを始動するまで5分ごとに30秒鳴り続けます。必ず全座席の安全確認を行ってから、車内ブザーを停止してください。
- ☐ 基本動作 4： 自動検知式(BS-350J)は、エンジン停止してから5分後に車内センサーが作動します。人や物の数十cm程度の動きを検知した時に車外アラームが鳴りますので、車内の全座席を確認の上、エンジンを始動させて車外アラームを停止してください。



⑥本装置の機能の限界について

- ☐ 本装置は降車時確認式や自動検知式の機能に加え、オプション追加によって位置情報、車内温度、緊急通報、AIカメラによる画像確認などが可能な高機能システムですが、故障や車両のバッテリー上がりの場合には正常に機能しない可能性があります。すべての機能はヒューマンエラーを防止するための補助的なシステムであり、安全にご利用いただくために取付・取扱説明書および本重要説明事項をご理解の上、毎月1回以上の定期点検による作動確認を必ず実施してください。
- ☐ 自動検知式の超音波センサーは検知距離が最大約4m程度ですので、大型バスなど検知範囲が広い場合は、必ず追加のセンサーをご購入いただき設置してください。
- ☐ メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは運転席周辺の振動を検知するシステムです。後部座席まで検知しないことを理解した上でご利用ください。



⑦ステイタスディスプレイの推奨設置場所および検知可能な故障の範囲

- ☐ 本装置が正常に作動していることを確認するため、正常作動時にはステイタスディスプレイの青色LEDが点灯して知らせます。
- ☐ 本装置は次の部分の断線または電源喪失を検知してエンジン始動時に赤色のLEDを点灯して知らせます。
 ・車内ブザーの断線 ・車外アラームの断線 ・メインユニットの電源喪失 ・車内センサーの電源喪失
 赤色のLEDが点灯した場合には、ご利用を一時中断し必ず本マニュアル記載の販売店・取付店または当社までご連絡ください。



⑧作動の通知および故障の通知について

- ☐ 本装置の作動の通知および故障検知は青色LEDが正常、赤色LEDが異常を示します。
- ☐ オプションのボイスモジュールBS-516(BS-350KVは標準装備)を装着することで、車内ブザー鳴動時や断線など故障が発生した場合に音声でも知らせることができます。また、オプションのライトフラッシュリレー(525Tまたは451M)を装着することで車外アラームが鳴っている時に、車両のターンランプを点滅させて異常を知らせることができます。



⑨ご利用時の注意事項について

本装置は給油や車検時に一時的に車内、車外警報を停止することができるメンテナンスモードをご利用できますが、すべてのシステムが一時的に停止するため必ず管理者が実施してください。



⑩保証について

本装置の無償保証期間は1年(耐用年数は3年または5年)です。あんしんサポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンス等により機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので取付・取扱説明書の34ページおよび35ページに記載のアフターサービスおよび保証規定の内容をご確認の上、本マニュアルの写しと保証書をご提示ください。

【設置工事時の注意点】

下記の①～⑨は送迎バスの置き去りを防止するための本装置の取り付けに関して、特にご確認いただきたい注意点を記載したものです。必ずすべての記載事項をお読みいただき同意の上、すべての□にチェックマークを入れてください。

- ☐ ①メインユニット等の動作保証温度は－40℃～＋85℃ですが、いたずら防止や不意のトラブルを防止するため、必ず説明書に従ってアンダーパネル内などの見えない場所に設置してください。
- ☐ ②通信ユニットおよびリモコン電池の動作保証温度は－30℃～＋70℃です。直射日光の当たらない場所に設置し、－30℃以下では利用しないよう必ず管理者にお伝えください。
- ☐ ③ブザー停止用リモコン(確認装置)は乗客らの手の届かない車両後部の高い位置に設置してください。
- ☐ ④ステイタスディスプレイは運転者等から見やすい推奨設置場所に設置してください。
- ☐ ⑤正常作動している時は、ステイタスディスプレイの青色LEDがエンジン始動時に点灯します。
- ☐ ⑥車内ブザー、車外アラームの断線を検知した場合、ステイタスディスプレイの赤色LEDが点灯します。その際はご利用を一時中断し、直ちに当社までご連絡ください。
- ☐ ⑦メインユニットの電源が喪失した場合は、ステイタスディスプレイの赤色LEDが点灯します。その際はご利用を一時中断し、直ちにメンテナンスおよび必要があれば当社までご連絡ください。
- ☐ ⑧車内ブザーは約90dB(リズム音)、車内音声は約120dB、車外アラームは約128dBの音量です。取り付けの際には周囲に人やペットがいないことを確認してから試運転を行ってください。
- ☐ ⑨この他、取付・取扱説明書記載の内容をよくお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

☐ すべての重要説明事項を確認しました。 確認日： 年 月 日

すべての重要説明事項の確認が完了しましたら、下記に署名押印をお願いします。原本を加藤電機株式会社
〒475-8574 愛知県半田市花園町6丁目28番地の10 宛てに送付をお願いします。

販売店・取付店担当者様記入欄

送迎バス情報

車種：

車体番号：

法人名：

住所：

電源電圧：☐ D.C.12V☐ D.C.24V

車両年式：

車両型式：

製品型式：

製品シリアル番号：

担当者名：

印

e-mail：

@

電話番号：

※社判、サイン可

送迎バスの管理者、運用責任者様記入欄

法人・団体名：

住所：

責任者名：

印

e-mail：

@

電話番号：

※社判、サイン可